

《大学受験勉強事始》

「文系編」

2014春版

まずは、大学受験勉強というものの全貌を「ドラゴン桜」で俯瞰して知るべし

大学受験の文系科目で学び身に付けるべきことは、「英文法」「英語長文」「現代文」「古文」「漢文」いずれをとっても、言語（言葉）による「論理的主張と論理的理由の提示による論理的説得という論理的過程（文系の論理）」に関する「読解力（受容力・推論力）と設問への論理的解答力」です。そのために、第一に学ぶべきは、英文・和文・古文・漢文の底流（根幹）に共有されている「言語共通の仕組み（構造）」と「文系の論理」に関する認識・理解です。そこで、『英文法』の学習を起点にして、拙著「英語案内」で、「言語共通の仕組み（構造）」「文系の論理」の骨格を学んで会得していただければ幸いです（この戦略は「社会人力」等の基礎力増強をも射程にしています）

例えば、以下の表の順で学習すれば、「言語の仕組み」と「文系の論理」を身に付けていただけるものと考えます（「受験力」だけではなく、「社会人力」「社会貢献力」「就活力」の装備を念頭に、各自が、考え、悩み、解決、会得していくのです）

くれぐれも、大学受験の文系科目で学ぶべきことは、「言語による論理力」であって、決して「鑑賞・感傷・感情」ではないことを肝に銘じてください

「文系の理論」は、「理系の数式による論理」に準ぜられるべきもののなのです

☺	書名	著者	出版社	⑤
①	「ドラゴン桜」	三田紀房	講談社	全貌俯瞰
②	「英語案内」（言語構造の認識・理解のための英文法入門書）			拙著
③	「英語頻出問題総演習」（即戦ゼミ3）	上垣暁雄	桐原書店	3章と1章だけ
④	「システム現代文 解法公式集」	出口 汪	水王舎	基本中の基本
⑤	「現代文 キーワード読解」	浅野・榎吉	Z会	文系受験の台座
⑥	「土屋の古文単語222」	土屋博映	代々木ライブラリー	要、逐一品詞分解
⑦	「中里の即決古文読解入門」	中里公俊	代々木ライブラリー	絶版（要ネット検索）
⑧	「基礎強化入試漢文」	三宅崇広	学研	絶版（要ネット検索）
⑨	「基礎強化入試現代文」	森永茂	学研	絶版（要ネット検索）
⑩	「速読英単語」必修編	風早寛	Z会	英語長文の基礎

⑤ 上記の学習順は極力守ってください（漢文不要と言わずに、推論力を養うために必ずやってください）

⑤ 上記をこなせば、大学受験英語・国語に関する「センター試験レベル」「MARCH（マーチ）レベル」に関する基礎は完成されます（あと、単語集（ターゲット等）をやれば展望良好！）

⑤ 各書、3～5回、下手すりゃ10回読み直して得心してから先に進むのが常識ですが、飽きたり、あまりにも難解でしたら、次以降に進んでみるのもひとつの方策です

⑤ 例えば、高1の春～夏から始めたとしたら、高2の夏いっぱいには上記が終わればますますです

⑤ 「『文法力』の完成なくして『英語長文読解無し』『論理力』の完成なくして『英語長文読解無し』」というコンセプト（「英文法完成⇒現代文論理力語彙力完成⇒古漢解釈力完成」→「英語長文読解」）です

⑤ 小論文や百人一首を高1～2で完成させることを喧伝している方面もありますが、これらは、「論理力」「論理的発信力」「解釈力」の極致レベルと考えられますので、「論理的認識力」の涵養以前に手を出すのは危険であり、高3の夏以降の課題と考えます（高1～2で無駄に手をださないでください）

⑤ 数学苦手者は、「白チャート」（チャートシリーズは、白黄青赤とレベルアップします）以上には手を出さないことです（「白チャート」で、「センター」「早慶文系」「MARCH」は十分です）

⑤ 論理的思考力強化（現象に対する体系的論理的説明力の強化）や社会人力強化のためには、文系であっても、化学の学習を推奨します（文系や苦手者には、「大宮理の化学が面白いほどわかる本・中経出版」が参考になります）